

スーパーカブが誕生して60周年を迎えた2018年、Hondaは初代スーパーカブ C100のスタイリングモチーフと現代のパーソナルコンピューターに求められる上質感を備えたスーパーカブ C125をグローバルモデルとして発売しました。

スーパーカブ C125は、日米各地域で計画を上回る販売を記録し、市街地のみならずツーリングなど活躍する範囲を拡げる中で、その利便性と上質感を実感いただいております。また、タイではスーパーカブ C125とともにある豊かな日常生活を通して、Hondaの二輪文化を改めて認知いただいております。

私達は、このような現代のスーパーカブシリーズのグローバルな状況を前提として、その世界をさらに拡げることを念頭に「気軽に、楽しく、どこへでも」というイメージを描きました。幅広い方々を“バイクを運転することの楽しさ”へといざない、それをより幅広いシーンで感じていただきたいという想いです。

そしてその想いをコンセプトモデルCT125として「第46回東京モーターショー2019」に出展し、多くのお客様から量産化への期待をいただきました。

CT125・ハンターカブ 開発のねらいは、

## 自然をゆったり楽しむ、トレッキングCub

スーパーカブシリーズならではの普段使いの気軽さに加え、楽しめる場面が一層拡がる機能性を「トレッキング性能」と位置づけ、かつての“CT”の特徴を受け継いだモデルとして提案します。

このねらいを実現するため各技術領域では以下を目指して開発しました。

- 車体 : 行動範囲を拡げる“CT”車体諸元
- パワーユニット : トレッキング&ゆったりツーリングが楽しい“CT”出力特性
- スタイリング : 都会からフィールドまで映える、タフ&モダンな“CT”スタイル
- 電装/他の装備 : 「現代の生活スタイル」との調和と、+αのキャンパシティー

また車名には、多くのお客様が“CT”を呼んでいただいている愛称“ハンターカブ”を取り入れました。郊外へのツーリングや、キャンプ、釣りなど様々なアウトドアレジャーの、より楽しい移動手段として、“その道のちょっと先へ”“自然とやさしく触れ合いたい”と、興味と好奇心が湧いてくるような、充実した休日を過ごす相棒となれることを願っています。



※写真は事前に許可を得た場所で撮影を行っております。